

## 第1章 平成26年度山口大学埋蔵文化財資料館の活動報告

当館は、昭和53年(1978)設置以降、山口大学構内が所在する遺跡の調査・研究を行うとともに、収蔵資料の展示・公開、また埋蔵文化財・考古学にかかわる教育活動を行っている。具体的には、展示・情報公開活動として、当館展示室において年度内に3回前後の資料展示を行うこと、各種メディアを用いて遺跡及び収蔵資料の情報を公開すること、教育活動としては年度内に1回の市民対象公開授業を開催すること、そして出張展示やワークショップの開催、講演会等への講師派遣など、学内外の要望に応じた地域連携・生涯学習支援活動を実施することである。

平成26年度は、展示・情報公開活動として、第36回企画展『情報求む！～収蔵庫に眠る由来不明の考古資料たち～』を開催した。また、県内の大学博物館・図書館が各大学の学術資料や研究成果を展示にて公開する「山口県大学ML(ミュージアム・ライブラリー)連携事業」に継続参加した。その他、本学委員会である山口大学所蔵学術資産継承検討委員会の事業成果展『宝山の一角』共催館として、展示室の提供と展示構築・広報支援などを行った。情報公開としては、平成23年度の年報と『見島ジーコンボ古墳群 第128・137号墳出土資料調査研究報告』、広報誌『てらこや埋文』、その他『山口県大学ML連携事業報告 平成26年度展示テーマ「発見」』を刊行した。社会教育活動に関しては、例年通り農学部附属農場との共催により、第14回公開授業『古代人の知恵に挑戦！－古代のお米をつくってみよう9－』を開催した。

当年度は、総入館者数は1,787名で前年度比12%の減であったが、これは毎年8月初旬に開催される本学吉田地区オープンキャンパスが台風接近により中止になったことが原因である。次頁より平成26年度の展示・情報公開活動、社会教育活動の概要を報告する。

表1 埋蔵文化財資料館利用者の推移

年度	平成7	平成8	平成9	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26
利用者総数	355	267	191	200	516	142	555	573	913	669	808	1,157	1,228	776	1,333	1,718	1,473	1,072	2,037	1,787

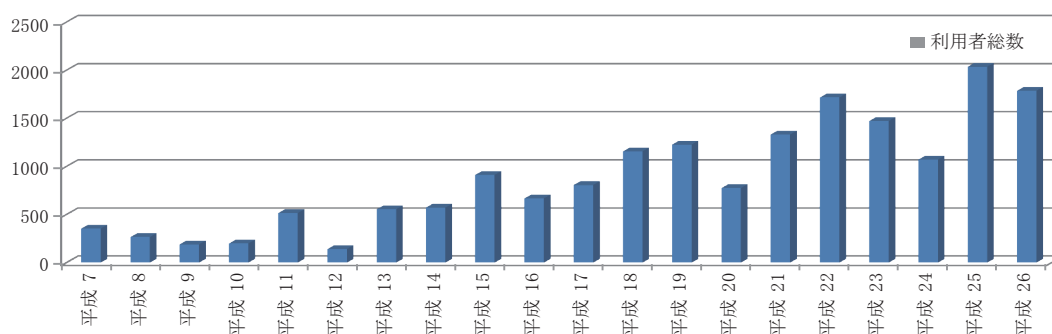


表2 平成26年度月別入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入館者数	386	177	232	66	110	111	142	193	97	55	9	209

